

Ready
made

レディメイド型講座

バイオ人材育成 トレーニングコース

主催：富山県バイオ産業振興協会

メインテーマ

医薬品開発の最前線（経口剤と点眼剤）

【受講料】 **10,000 円(税込)**

（研究協力会会員は 5,000 円）

※富山県バイオ産業振興協会会員は無料

【開講日・開講時間】

9月15日(木) | 8:55 ~ 17:00

【申込締切】 令和4年 **8月22日(月)**

受講者が準備するもの

（遠隔の場合）Zoom に対応した環境、カメラ、マイク

カリキュラム

	時間	テーマ	内容	キーワード	担当講師	場所	パソコン利用の有無
1	8:55 ~ 9:00		講師の紹介 1		医薬品工学科 村上 達也 教授	N-205	無
2	9:00 ~ 12:10	各種アプローチによるペプチド・タンパク性医薬品の消化管・経粘膜吸収性の改善	ペプチド性医薬品の新たな投与形態として経口・経粘膜投与が期待されており、これら投与経路からの吸収性の改善について紹介します。	ペプチド性医薬品、経口投与、経粘膜投与、吸収改善	京都薬科大学 山本 昌 教授	N-205	有
3	13:10 ~ 13:15		講師の紹介 2		医薬品工学科 村上 達也 教授	薬事総合研究開発センター	無
4	13:15 ~ 14:45	医薬品開発と毒性評価：眼科薬を中心に	眼科薬開発に必要な基礎知識や毒性試験について紹介する。配合剤やバイオ医薬品など、近年のトレンドにも触れます。	医薬品開発、眼科薬、毒性試験、眼毒性、動物種差	千寿製薬株式会社 厚見 育代 氏	薬事総合研究開発センター	有
5	14:55 ~ 16:45	顆粒剤・錠剤の試作と物性評価	固形製剤の製造工程に沿って試作用製剤機械を用いて錠剤を試作し、顆粒剤、錠剤の物性を測定する。本実習を通じて、医薬品（錠剤）の製造プロセスならびに製剤機械の特性を理解します。	錠剤、顆粒剤、造粒、打錠、物性測定	薬事総合研究開発センター 主任研究員 永井 秀昌 氏	薬事総合研究開発センター	有
6	16:45 ~ 17:00		アンケート記入、意見交換、閉講				無

特記
事項

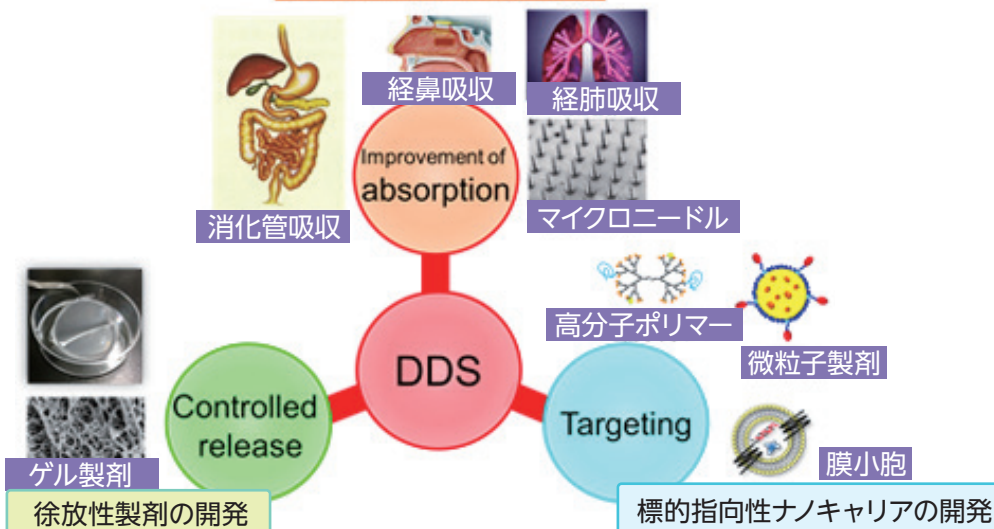
午後の講義および実習について、薬事総合研究開発センターにご協力いただきます。
富山県バイオ産業振興協会会員は受講料をお支払いいただく必要はございません。

コース概要

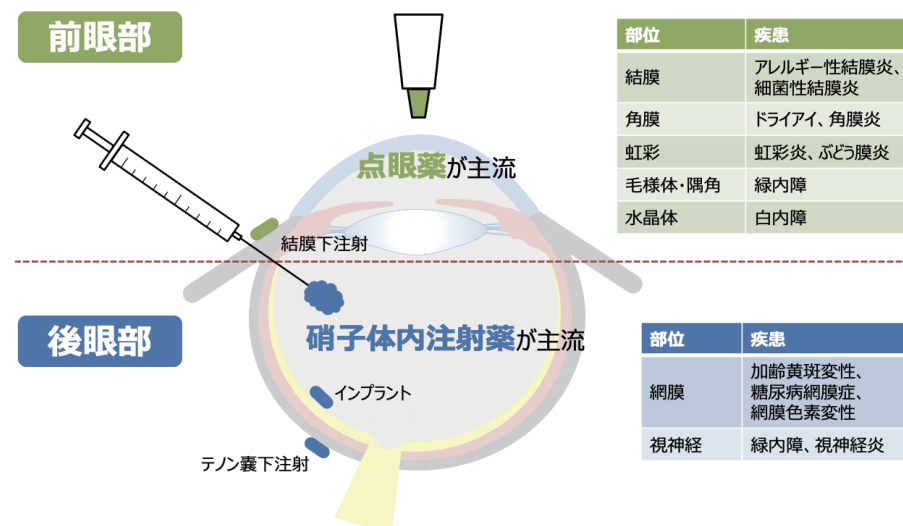
バイオ人材育成トレーニングコース（1日コース）

講義・演習

難吸収性薬物の経粘膜吸収の改善



眼疾患に対する薬物治療



製剤実習で使用する装置（予定）

